

片岡陳正氏文書（1）概要

1: 文書群番号	107004
2: 文書群名	片岡陳正氏文書（1）
3: 出所	片岡家
4: 家業・役職等	近世：尼崎藩の藩士、勘定方役人、側用人
5: 地名	摂津国川辺郡尼崎宮町／兵庫県川辺郡尼崎町／内尼崎町／尼崎市西本町
6: 行政区分	尼崎藩領／兵庫県第9区／尼崎町戸長役場／尼ヶ崎町／尼崎市
7: 歴史	<p>同家の先祖は、譜代大名土屋家に奉公し、その後浪人生活を送ったという。延宝元年（1673）、片岡保広が高野山照明院先代和尚の紹介で松平忠俱に料理人として召し抱えられ、出世を重ね、勘定奉行となった。その後片岡家は藩内伊与田家、丹波国篠山藩士大塚家から二度養子を迎えている（前者は陳好、後者は陳矩）。なお、後者の陳矩は幕末期に尼崎藩の藩主である忠栄（ただなが）の腹心として活躍した人物である。文政12年（1829）に藩主忠栄の近習役となり、その後小納戸・目付・郡代と出世、最終的には側用人としての地位に就いている。（『図説 尼崎の歴史』上巻231～232頁）</p> <p>維新後尼崎を離れ上ヶ原新田（現西宮市）に移り、明治10年代半ば頃まで同地で暮らした模様である。祖父の片岡英蔵の代には、燐寸工場を経営しており、中国広東省や上海にも工場を立てていたという（維新後については、片岡陳正氏からの聞き取りによる）。</p>
8: 伝来	<p>本文書群は、神戸市兵庫区にあった陳正氏の実家を整理するなか発見された。現所蔵者の陳正氏が、公共の施設で保存して役立てて貰いたいと希望した結果、（1）平成19年5月19日、20点借用、（2）同年7月5日に168点借用、（3）同年10月18日に73点借用。平成21年2月に整理・目録作成を完了し、平成28年4月陳正氏より寄託を受けた。</p>
9: 史料入手先	片岡陳正氏
10: 点数	261点（目録件数130件）
11: 年代	近世中期～明治30年代
12: 構造と内容	<p>本文書群は、旧尼崎藩の藩士で勘定方役人や側用人などをつとめた片岡家が所蔵する史料である。主に幕末～明治初期のものからなり、幕末における尼崎藩支配関係及び兵法関係、明治期の通達類、経営・土地・金銭関係、葬式や教育といった家関係、他に写真等からなる。</p>
13: 関連史料	なし
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	河野未央